

# 市長定例記者会見資料



令和6年5月29日	
所属	都市戦略推進担当
所属長	渋谷 俊典
電話	06-6489-6620

## 市内公共施設工事現場などを活用したアートプロジェクト「アマのうわさ」始動

尼崎市は、6月19日から順次、阪急園田駅や阪神尼崎駅前の中央公園の一部エリアを皮切りに、ハード整備の情報や地域住民らとともに考えた見過ごしがちなまちの魅力を、ユーモアある吹き出し形式の印刷物で情報発信していくアートプロジェクト「アマのうわさ」に取り組みます。「アマのうわさ」は、うわさプロジェクト発案者の山本耕一郎さん（下記プロフィール参照）協力のもとで実施します。

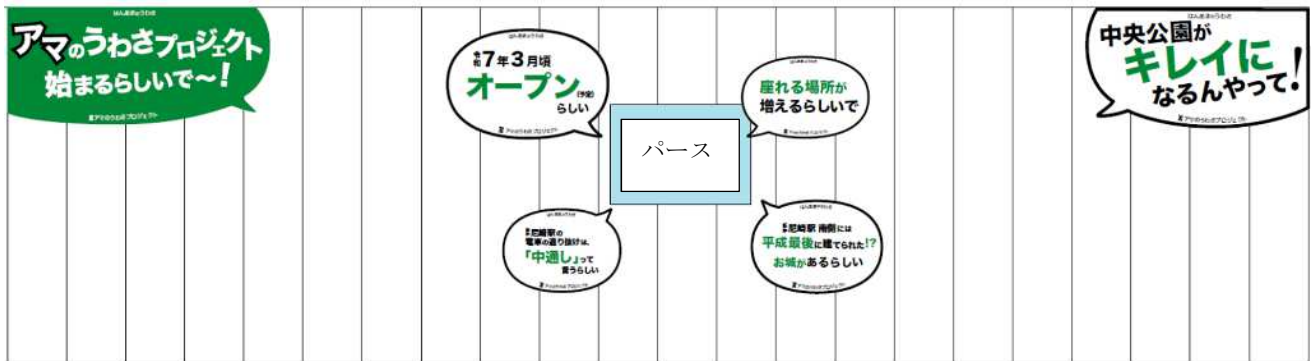
「アマのうわさ」を通じて、公共空間の隠れた魅力を再発見する機会とするとともに、今後の展開では公募やワークショップ開催といった市民など自らが考えるプロセスを盛り込むことで、地域コミュニティの活性化を図っていきます。

本市はこうした取り組みを進めることで、地域の持つ魅力や優れた施策を広く知らせ、エリアブランディングを推し進めていきます。

### 1 アートプロジェクト「アマのうわさ」の概要

公共施設工事現場の仮囲いなどをキャンバスに見立て、巨大な吹き出し型の作品を制作します。うわさは主に次の2種類です。(2)は地域住民や事業者等から集めた地域の情報を「うわさ」にして掲示します。

- (1) 事業を行っている駅前など公共空間に関するうわさ
- (2) 掲示場所付近に関する地域の歴史や文化などに関するうわさ



阪神尼崎駅前（中央公園）へ設置する「うわさ」のイメージ図（上）とパース図（下）

（次ページへ続く）

## 2 掲出場所

下記の(1)(2)から掲出します。

### (1) 阪急園田駅前広場の整備現場

掲出時期：6月19日から

概要：仮広場の仮囲いに、市民協働で進める利活用の情報を掲出します。また、将来の広場の完成パース図はタウンミーティング等を通して整備内容を検討しており、案が固まり次第掲出します。

### (2) 阪神尼崎駅前（中央公園）の再整備現場

掲出時期：6月21日から

概要：中央公園工事現場仮囲いに、完成パース図と合わせて、同公園のオープン時期や工事内容を掲出します。また、協働事業主体の阪神電気鉄道株式会社につわる「うわさ」を同社と協力して掲出します。

引き続き、大物駅周辺などの整備工事の仮囲いや阪急塚口駅、JR尼崎駅などにも順次掲出していきます。

## 3 整備現場以外での地域コミュニティの活性化に向けた取り組み

より地域に根差した先行的な取り組みとして、立花地域課において地域の方々とともに「うわさバッジづくり」などを行うとともに、毎月開催している地域のプラットフォーム「立花かいわい会※」において活用するなど、同プロジェクトの周知や参加者間の交流を図っていきます。こうした取り組みを進める中で、立花地域のうわさを集め、将来的に立花南生涯学習プラザ内に掲示していくことで、地域への関心や交流を広げ、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

※「立花かいわい会」開催日時

開催日：毎月第2火曜日、13時～14時30分、18時30分～20時

場所：立花南生涯学習プラザ（栗山町2丁目25-28）（月によっては変更の可能性あり）

連絡先：立花地域課 電話：06-6427-7770

### （参考）山本耕一郎氏プロフィール

1969年名古屋市生まれ。筑波大学卒。英国ロイヤルカレッジオブアート大学院修了。

2012年青森県八戸市に移住。

まちのひとたちの噂が書かれたフキダシを商店街などに貼り出す「うわさプロジェクト」や、小学生と一緒にまちに住むひとたちの記念日が書かれたカレンダーを作る「まちカレ」など、八戸を拠点に全国で地域と深く関わるアートプロジェクトを展開中。2014年より八戸市中心街で「なんか楽しそう」をつくり出す市民集団「まちぐみ」を発足。コミュニティアーティスト、まちぐみ組長。

以上